新着情報　2013.12

建築ジャーナル誌 12 月号に　くすのき認定こども園　が掲載されました。

ちなみに・・・・・・・・・12 月号は　こども施設　特集です。

フィットン・チッドいっぱいの園舎

　2013年5月に竣工した泉大津市立の保育園で、既設の幼稚園敷地内に建設し2014年4月に開園する幼保連携型の認定こども園である。園名にちなんだ「クスノキ」を大黒柱に使い、無垢の木材で造られた純木造の園舎である。奈良吉野の阪口製材所の協力を得て120年を超える材齢の吉野の桧・杉を柱・梁に、床には東北産の栗フローリング、外装にはレッドシダー・セランガンバツーで仕上げた「フィットン・チッド＝森の香り」いっぱいの心と体にやさしい、子どもたちの五感を育む建物である。入口の扉は「くすのき」をイメージした曲げ木とカラーガラスを組み合わせた設計者によるオリジナル木製建具で、制作は阿波指物師四・五代目、富永啓司・康介親子の手に依る。

（石田俊二郎／エーアンドシー設計）

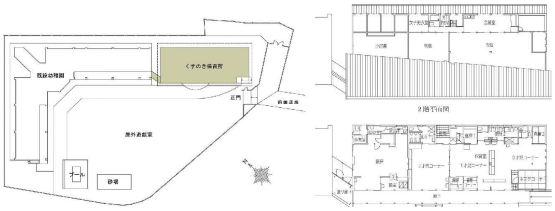
片流れ屋根の長尾木構造の対象空間

フィットン・チッドいっぱいの園舎

くすのき認定こども園 | 設計監理：エーアンドシー設計

2013年5月に竣工した泉大津市立の保育園で、既設の幼稚園敷地内に建設し2014年4月に開園する幼保連携型の認定こども園である。園名にちなんだ「クスノキ」を大黒柱に使い、無垢の木材で造られた純木造の園舎である。奈良吉野の阪口製材所の協力を得て120年を超える材齢の吉野の桧・杉を柱・梁に、床には東北産の栗フローリング、外装にはレッドシダー・セランガンバツーで仕上げた「フィットン・チッド＝森の香り」いっぱいの心と体にやさしい、子どもたちの五感を育む建物である。入口の扉は「くすのき」をイメージした曲げ木とカラーガラスを組み合わせた設計者によるオリジナル木製建具で、制作は阿波指物師四・五代目、富永啓司・康介親子の手に依る。

（石田俊二郎／エーアンドシー設計）

所在地　大阪府泉大津市我孫子3-7
伯耆市　泉大津市
用途　認定こども園
構造　鉄筋コンクリート造
設計・監理　エーアンドシー
施工　阪口工業
敷地面積　361.00㎡（駐車場）
建築面積　4,136.51㎡
延床面積　2013年5月
竣工　2013年5月
撮影　河合正勝

左上｜中央にクスノキの大黒柱のある保育室　左下｜3階よりの学児コーナーを見下ろす　右上｜くすのきをイメージした入口の形状　右中｜2階廊下から金属窓を見る　右下｜ウッドデッキを張った1階の廊下